

## 2 . 全体評価

### (1)全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進												
自立的林業経営活動の推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
マーケティング力ある林業担い手の育成	素材生産量(目標値)	必須選択の指標	21	千m³	R3	34	千m³	R4	23	68	R4	R5.10.25原木市場及び花粉対策室実績報告より集計
	人材の確保・育成・定着	新規就業者数(目標値)	13	人	R3	7	人	R4	7	100	R4	R5.10.26都労確センター確認
	労働安全の確保	災害発生件数(減少率)	9	人	R3	8 (11.0%)	件	R4	12 (-33.0%)	67 (-300.0%)	R4	R5.10.25厚生労働省公表資料
林業経営体の育成												
木材利用及び木材産業体制等の整備推進												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
マーケティング力ある林業担い手の育成	素材生産量については、34千m <sup>3</sup> の目標値に対して実績23千m <sup>3</sup> となり、目標値には届かない結果となった。 新規就労者については、7人の目標値に対して実績7人となり、目標値を達成できた。労働災害件数については、目標値を上回る結果となった。	・令和元年度台風19号による主伐地及びアクセス道となる林道が被災した影響が続き、素材生産量の目標達成に届かなかった。今後はアクセス可能な主伐地の継続した事業実施を行う。 ・新規就労者の確保に向けて、継続して取組を実施するとともに、定着促進のため、フォローアップ体制の充実を図っていく。また、労働者の安全を確保する活動を継続し、労働災害の未然防止に努める。
林業経営体の育成		
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。